

きららの湯若狭鍼灸院の開院から3年間の患者受療状況

江川 雅人^{1), 2)}

¹⁾針灸学講座 鍼灸学ユニット, ²⁾きららの湯若狭鍼灸院

【はじめに】きららの湯若狭鍼灸院は、本学・福井県若狭町・(株)オーイングの産官学連携の下に2019年2月21日に開院した。開院から3年間の初診受療（新患）808名の受療状況について報告する。

【方法】データ集積は初診時の予診表（自己記述）と問診や治療による判断の記録（カルテ記載内容）を元に集計した。

【結果と考察】

- 1) 3年間、684日間の診療日に808名（男性403名（ 56.1 ± 18.4 歳）、女性405名（ 56.3 ± 17.9 歳））の新患が受療した。
- 2) 年齢層は60歳台を中心に高校生のスポーツ鍼灸や美容鍼灸も含めた幅広い年齢層が認められたが、受療数の推移はコロナ感染症蔓延の影響を受け、2020年以降は抑制傾向にあった。
- 3) 患者の住所地は、鍼灸院がある若狭町からが最も多く、若狭町を含めた嶺南地方からの患者により75%を占めた。本院を知る契機としては来湯機会と紹介による来院が多かった。
- 4) 愁訴は運動器系（いわゆる肩こり、腰痛等）疾患、神経痛などの神経系疾患、健康美容鍼灸、内科系疾患の順に多かった。
- 5) 鍼灸治療院数が少ない地方においては、幅広い年齢層や愁訴を対象とし、広報・治療活動として地域の活動（スポーツ大会、地域産業、観光活動、婦人会や敬老会）との連携が有効であると考えられた。